

氏名	佐藤玲子	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	公衆衛生看護学 地域看護学				
学位	看護学 修士				
学歴	青山学院大学卒業、聖路加看護大学修了、筑波大学人間総合科学研究科生命システム医学単位取得後満期退学				
経歴	看護師、保健師、養護教諭、大学教員（聖路加看護大学、東京慈恵会医科大学など、埼玉県立大学在職中）				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本看護研究学会、日本フットケア足病医学会、日本歯科衛生学会、日本学校健康相談学会、SPU学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	保健室で取り組む新型コロナウイルス対策の考え方について	単著	あり	健学社、心と体の健康、24(07)、73-75、令和元年	佐藤玲子	2020.07
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	高齢前期女性への徒手マッサージ循環器系・自律神経系を安定させ、快方向の刺激を与えるー	単著	なし		地域ケアリング;22(10);32-36	佐藤玲子
2	Study of the Capacity for Stress Management among Fathers with Infants and Related Factors	共著	あり		Journal of Physical Fitness,Nutrition and Immunology ;	Miyuki Seki, Aki Shibata, Mariko Hattori, Reiko Sato, Yoshiko Uehara, Junko Ishizaki, Ayaka
3	研修担当者のインタビュー調査からみえる新任養護教諭の力量	共著	あり		子ども・教職研究 4;17-22	上原美子、佐藤玲子、関美雪、服部真理子、石崎順子、伊草綾香
4	はみがきを乳幼児に促すためにー絵本からわかる歯の発育・むし歯予防ー	共著	なし		子ども・教職研究 4;62-70	滝本裕莉、佐藤玲子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	地域在住高齢者が自覚するむせ込みの増加と体力低下に関する検討	共同		日本歯科衛生学会第15回学術大会、日本歯科衛生学会雑誌15(1)p93	○佐藤玲子、會田和音、植村友美、滝本裕莉、吉田隆	2020.09.20~22
2	首都圏近郊部8市町村の0歳児が受けた予防接種と未接種保護者の状況	共同		第79回日本公衆衛生学会総会抄録集、京都 抄録p369	○佐藤玲子、関美雪、服部真理子	2020.10.20~22
3	女子大学生における運動習慣・身体活動量とヘルスリテラシーとの関連	共同		第79回日本公衆衛生学会総会抄録集、京都 抄録p350	○石崎順子、関美雪、服部真理子、上原美子、佐藤玲子、柴田亜希、伊草綾香、大久保菜穂子	2020.10.20~22
4	第1子を妊娠している配偶者を対象にしたプレパパ教室の取り組みとその効果	共同		第79回日本公衆衛生学会総会抄録集、京都 抄録p357	○関美雪、服部真理子、佐藤玲子、上原美子、石崎順子、柴田亜希、伊草綾香	2020.10.20~22
5	研修担当者のインタビュー調査からみえる新任養護教諭の力量	共同		第79回日本公衆衛生学会総会抄録集、京都 抄録p477	○上原美子、佐藤玲子、関美雪、服部真理子、石崎順子、伊草綾香	2020.10.20~22
6	乳児期の子どもを持つ父親の精神的健康と関連する要因	共同		第67回日本小児保健協会学術集会、久留米 抄録	○上原美子、佐藤玲子、関美雪、服部真理子、石崎順子、伊草綾香	2020.11.4~6
7	地域在住高齢者が感じる転びやすさと体力低下の関連	単独		第1回日本フットケア・足病医学会年次学術集会、横浜 抄録p202	○佐藤玲子	2020.12.4~5
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部省科学研究費			地域在住高齢者の足のセルフケアの促進と足指筋力の向上に関する効果の検証	研究代表者	2019.4~2022.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	口腔保健科学概論		1	1年次生に地域保健・ライフステージごとの公衆衛生活動を具体例を講義して、その内容を国家試験内容を通して確認した。
2	ヒューマンケア論		2	一年次生に地域口腔保健活動についてパネルディスカッションを通して専門職の仕事の理解を促した。
3	看護学概論	○	15	対象年次生に、成人・高齢期の健康・家族の発達と衰退・加齢症状・生活習慣による疾患・介護など、ライフステージに応じた理解を促した。
4	小児保健看護学	○	15	対象年次生に、出生前・胎児期・乳幼児期・母性の発達、保健活動など、ライフステージに応じた健康の変化の理解を促した。
5	小児看護学Ⅰ	○	8	対象年次生乳幼児の疾患を理解し成長発達を促すこと、学校保健で必要になる健康管理の重点項目を加えて講義を行った。
6	母性看護学Ⅰ	○	8	対象年次生子どものケアや療養期の看護を行う家族や保護者、母親の視点を理解できるよう講義を行った。
7	看護援助方法	○	8	対象年次生基本的な看護技術バイタルサイン（呼吸・脈拍・血圧・体温）を理解し健康管理に必要な知識・技術を理解し実技の習得を行った。
8	臨床検査論	○	8	対象年次生臨床場面の健康観察で用いる生体機能検査について講義演習を行い理解を促した。
9	教職実践演習		15	対象年次生教職養護教諭履修学生が総合的に知識・技術を習得し、卒業・就職に向けた学習のサポートを総合的に行った。
10	養護実習事前事後オリエンテーション		15	対象年次生養護実習の事前準備を実施し実習が円滑に行えるようにした。また実習後の学習成果を共有化し質疑応答を通して学習を全員で深めた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	養護実習		150	口腔保健科学専攻学生の实習課題や臨地実習施設で示される内容が展開できるよう実習指導で対応を行った。
2	ヒューマンケア体験実習		45	グループメイン科目担当者。実習施設と教員・学生の調整・緊急時対応を行う。実習課題や臨地実習施設で示される内容を確認した。発表会の運営で学習内容が深めた。実習指導者会議で施設担当者と調整を行った。
3	口腔保健科学臨地実習3		4	高齢者施設で実習課題・臨地実習施設に応じた口腔実習指導を行った。
4	看護臨床実習	○	60	実習課題・対象者・臨地実習施設に応じた内容で医療的ケアとコミュニケーション・健康管理の指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.04～2021.03	主指導	1名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	調布市健康づくり始める会	運営委員		
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会	2020.4~2021.3
3	学科等における委員会等	教職関連科目担当者会議	2020.4~2021.3
4	学科等における委員会等	ヒューマンケア実習室運営担当者会議	2020.4~2021.3
5	大学広報活動	オープンキャンパス教職実施	2020.4~2021.3
6	学生支援	アドバイザーグループ活動	2020.4~2021.3
7	学生支援	教職ホームカミングデイ	2020.4~2021.3
8	学科等における委員会等	子ども・教職研究編集委員	2020.4~2021.3
9	学生支援	自衛消防隊地区隊	2020.4~2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	第67回日本小児保健協会学術集会優秀演題賞	日本小児保健協会	2020.11
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		